

報道関係各位

聖路加国際大学と JICA とのコラボレーション教育プログラム開設 － 国際保健の最前線で青年海外協力隊での活動と大学院での学びを同時に実現 －

学校法人聖路加国際大学大学院看護学研究科では、国際的な母子保健の向上に寄与するスペシャリストに必要な能力の開発を目指し、修士課程ウィメンズヘルス・助産学専攻（上級実践コース）に、独立行政法人国際協力機構（JICA）との共同プログラムを開設しました。

プログラムの正式名称は、「聖路加国際大学大学院修士課程助産学専攻（上級実践コース・長期在学*）タンザニア連合共和国母子保健支援ボランティア連携事業」で、アフリカを対象にした青年海外協力隊またはシニア海外ボランティアとの大学院連携プログラムとして看護系では初の事業となります。タンザニアでは妊産婦死亡率 450/出生 10 万、新生児死亡率 25/出生千と依然として高く（日本では妊産婦死亡率 3.8/出生 10 万、新生児死亡率 1/出生千）、妊娠・出産に伴う妊産婦や新生児の合併症による死亡や障害を予防するための基本的な医療サービスが不足しています。本学では、これまでもアジア・アフリカ学術基盤形成事業など、国際的な視野で看護・保健の改善に向けた取り組みを行ってまいりました。

このたびの JICA とのコラボレーションでは、要件を満たした本学の大学院生が、タンザニア共和国に青年海外協力隊またはシニア海外ボランティアとして赴任し、本学が協力実績を有する現地の病院や地方自治体において、母子保健従事者、地域の妊産婦や母親等と共に、保健・医療サービスの向上に取り組めます。長期在学の修業年限（3 年間）のうちの 1 年 9 か月間を現地での経験に充てることで、世界の健康課題への理解を深め、課題解決に取り組む国際的な看護職の育成を促進いたします。
*本学修士課程は学修者のニーズに応じて標準年限：2 年、長期在学：3 年といった修業年限を設定しており、本プログラム履修者は長期在学となります。

【本件に関するお問い合わせ先】

（学）聖路加国際大学 法人事務局広報室 〒104-0045 東京都中央区築地 3-8-5
代 表 03-3543-6391 FAX 03-5565-1626 広報室 03-6226-6361 / 03-5565-0950
E-メール koho@slcn.ac.jp